

と思いますか？」と質問したところ、『大きな影響が出ると思う(37・0%)』『多少影響が出ると思う(42・6%)』と8割近い回答者で影響が

出るという回答が寄せられた。調査は3月24日～26日にかけてインターネットで行われ、工務店経営者1067人を対象に行われた。

自分らしさを詰め込んだ自由な家づくり

デザイン住宅「ZERO・CUBE」等を手掛ける住宅ブランド「ライズ」『LIFE LABEL(ライフレーベル)』(運営会社「株式会社東京支社」)は、昨年10月に新築規格住宅「ZERO・CUBE ETOOLS(ゼロキューブツールズ)」を発売した。内装建材やリノベーションサービスなど、約2200点を提供するウェブショップ『toolbox(ツールボックス)』とコラボレーションして開発した住宅で、LIFE LABELが躯体を、内装はtoolboxが担当している。

ユーザーが自分好みにパーツを選び、カスタマイズできることが特徴で、例えば壁に有孔ボードを用いることで、DIYスタイルの内装を実現。均等な感覚で空いた穴にフックや棚を取り付けて収納を設けるほか、ギヤ

ラリーとしても使用することができ。また、家の各所にはすべてtoolboxセレクトの照明を配しており、やさしい明りが住む人それぞれのライフスタイルを演出する。

オプションで屋上のスカイバルコニーを設置することも可能。3面手すり採用することで、開放感のある特別な空間が完成するなど、自分のおしゃれを追求できる住宅となっている。

根底には「もっと気軽に・より楽しく自分の好きなスタイルの家づくりをしてほしい」というLIFE LABELの住まいづくりの哲学がある。その上で住宅を箱(躯体)として捉え、そこにどのようなパーツを組み合わせていくかを選択。そしてその箱に、自分らしさを詰め込んでもらいたいという思いから、ユーザーがより自分の好みに

合わせてカスタマイズできる自由な家づくりを目指した。

広報を担当する松本知佳子さんは、その魅力について「リノベーションやDIY住宅はおしゃれな家、おしゃれな暮らしというイメージがあるが、新築でもそれが再現できるんだよというのがZERO・CUBE ETOOLSが教えてくれるポイント。ゼロからスタイルを上げるのではなく、複数ある選択肢の中から「選ぶ」とや「組み

合わせてカスタマイズできる自由な家づくりを目指した。



有孔ボードを用いた内装

合わせる」ことで自分らしさを表現できるのがツールの面白さ」と話す。

本体価格は1500万円(税抜)。延床面積は98・53㎡(29・80坪)、床面積は1階が52・99㎡(16・03坪)、2階が45・54㎡(13・77坪)となっている。

